



【特集】ユネスコ食文化創造都市の更なる展開



ユネスコ
食文化創造都市

鶴岡

UNESCO Creative City
of Gastronomy

ユネスコ認定をインバウンド 観光の追い風に

国内初で唯一のユネスコ食文化創造都市・鶴岡。一昨年12月の認定以降、昨年のミラノ国際博覧会への出展や世界の食文化創造都市、教育機関等との交流などで世界的な知名度を高めています。本市ではこの状況を追い風に、農林

水産業や関連産業の振興など地域活性化につなげようと世界から観光客を招くインバウンド観光に取り組んでいます。今回の特集では、本市が食文化をテーマに展開している鶴岡型インバウンド観光の概要を紹介します。

■問合せ 食文化創造都市、食と農の景勝地…本所食文化推進室 ☎25 - 2111内線519
インバウンド観光…本所観光物産課 ☎内線548
日本遺産…社会教育課（櫛引庁舎） ☎57 - 2111内線348





①ユネスコ創造都市国際交流企画展



②インバウンド観光レセプション

フランス・パリで行った鶴岡型 インバウンド観光PR

①ユネスコ創造都市国際交流企画展

国内の各創造都市等とともにパリのユネスコ本部1階で日本の文化を発信する企画展に参加しました。

【テーマ】

日本へのクリエイティブな旅

【期間】

10月17日～21日(5日間)

【来場者数】

約3,300人

【PR内容】

- ①鶴岡食文化と観光の紹介
- ②羽黒山伏による出羽三山の精神文化と精進料理紹介
- ③菓子職人による和菓子づくり実演
- ④ひな菓子、だだちゃ豆等の提供

②インバウンド観光レセプション

パリの旅行会社を対象に、本市の観光ポイントや日本酒、精進料理等を紹介するレセプション(招待会)を行いました。

【期日】

10月19日

【PR内容】

- ①観光プレゼンテーション
- ②訪日経験者による鶴岡の魅力紹介
- ③精進料理、和菓子、地酒等の提供



鶴岡菓子協同組合
理事長 梅木欣一氏

世界に通じた鶴岡菓子職人の技術と誇り

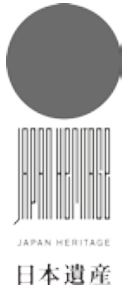
全国的に菓子づくりは経済性と効率性から機械に任せることが多いのですが、鶴岡では1つ1つを職人の手で作ろうとする気風が残っています。職人の技術が代々受け継がれることで洗練され、菓子の魅力も一層引き立つのでしょうか。大量生産はできませんが、その分職人の誇りとこだわりが菓子に込められています。その鶴岡の菓子づくりを、外国の方々が高く評価してくれたことは本当にうれしいですね。これを機会に職人一同、菓子づくりの技術を更に磨いていきます。

次は鶴岡が外国から観光客を招く番です

国際交流企画展のスタートは羽黒山伏のほら貝がユネスコ本部内に響き渡り、参加者の注目を集めました。期間中、様々な国籍の人が鶴岡の展示を見てくれましたが、精進料理の意味、山伏や修行の背景などを話すと、興味を持って聞いてくれました。インバウンド観光を進めるには、外国人にとって分かりやすい・利用しやすいサービスが不可欠です。海から山まで恵まれている多様な観光資源を生かすためには、移動手段のない外国人が周遊できる交通サービスも必要だと思います。



羽黒町観光協会
会長 星野博氏



出羽三山地域をテーマとした観光振興や地域活性化

自然と信仰が息づく「生まれかわりの旅」

日本遺産とは、地域内に点在する遺産についてその歴史的経緯や伝承、風習などを踏まえ面的につなげ、我が国の文化・伝統を語る上で重要なストーリーとして、文化庁が認定したものです。

山形県が申請した本市・西川町・庄内町を舞台とするストーリー「自然と信仰が息づく『生まれかわりの旅』～樹齢300年を超える杉並木に包まれた2,446段の石段から始まる出羽三山」が、4月25日に日本遺

産に認定されました。

本市では出羽三山の日本遺産認定を機に、認定された文化財、自然、建築物、行事、食、温泉などを巡る滞在型の観光をPRし外国人の誘客を進めます。また、県と関係自治体、観光関係者で設立した出羽三山「生まれかわりの旅」推進協議会をはじめ、東北地方の各観光地や新潟市等羽越本線沿線自治体と連携し、観光振興に取り組んでいきます。

出羽三山「生まれかわりの旅」推進協議会の取り組み

- ①英語、中国語、韓国語に対応したポータルサイトの開設
- ②多言語化したマップやパンフレットの作成
- ③案内ガイドの養成
- ④日本遺産シンポジウムin山形の開催

平成27年から2年間、夏の時期に出羽三山神社で研修したジャネットさんに聞きました



鶴岡市観光連盟国際観光推進員
ラースロー・ジャネット氏
ハンガリー出身

出羽三山を訪れる外国人観光客は増えていますか？

はい。私が研修した2年間で、着実に増えていると感じています。きっと平成23年にパリとブタペストで出羽三山や精進料理をPRしたことがきっかけだと思います。

何を目的に訪れているのでしょうか？

月山や羽黒山への登山者が多いですが、食文化を学びに来る方も増えました。精進料理の歴史や食材に興味を持っているようです。

どの国が多いですか？

ヨーロッパが多いです。「日本に行ったら出羽三山に行ったほうがいいよ」と口コミで広がっているようです。ガイドブックや雑誌で紹介された記事も後押ししてくれています。

今後、外国人観光客は増えると思いますか？

はい。鶴岡や出羽三山は自然を大切にしている環境がきれいです。歴史や食文化などの魅力は世界でもトップクラスだと思います。

鶴岡型インバウンド観光への布石

- 平成21年3月 ▼羽黒山杉並木が『ミシユラン・グリーンガイド・ジャポン』で三つ星に認定
- 平成23年 ▼鶴岡食文化創造都市推進協議会が設立
- 7月 ▼パリ（フランス）、ブタペスト（ハンガリー）でインバウンドプロモーションを実施
- 平成26年12月 ▼ユネスコ創造都市ネットワークの食文化分野に加盟認定
- 平成27年10月 ▼ミラノ（イタリア）のレストランでマスコミ・食産業関係者へ鶴岡食文化プロモーションを実施
- ▼ミラノ国際博覧会に出展
- ▼ブラ（イタリア）のイタリア食科学大学で鶴岡食文化の特別講義を実施：写真①
- ▼パリのユネスコ本部等の国際機関で鶴岡食文化プロモーションを実施
- 平成28年 ▼イタリア食科学大学生が鶴岡市を訪問。生産者や料理人から鶴岡食文化を学ぶ：写真②
- 3月





「食と農の景勝地」を活用した鶴岡の未来への展開方向

ユネスコ食文化創造都市で体感する食と風土

農林水産省が今年度創設した「食と農の景勝地」は、特徴ある地域の食とそれを生み出す農林水産業を核として、外国人などを誘致する特に優れた取り組みを認定する仕組みです。

全国で44地域が申請し、本市を含む5地域が11月1日に初認定（第一弾認定）されました。

農林水産省と内閣官房、総務省、文化庁、経済産業省、観光庁、日本政府観光局が協力して、「食と農の景勝地」を海外イベントや文化事業などで強力に情報発信し、認定された地域への観光需要につなげます。

■「食と農の景勝地」取り組み概要

- 主体 鶴岡食文化創造都市推進協議会
- 期間 平成28年～32年の5年間

▶誘客ターゲット

日本の歴史や文化に対する関心が高く知的探究心が旺盛な、フランス、イタリア、ドイツ、アメリカ、オーストラリアの5か国

◎平成32年インバウンド10倍計画
宿泊者数4,000人から4万人へ
(5か国を含む全世界からの人数)

▶誘客に向けた取り組み

◎食文化の体験の場を提供する

豊かな農林水産物や風土を体験する「鶴岡ツーリズム」と「食と風土の祭典」を開催し、国内外からの誘客を図る

◎食文化の学びの場を提供する

ユネスコ食文化創造都市ネットワークや国内外の食の研究機関と連携し、定期的に外国人が本市を訪れる機会を設ける

▶外国人観光客等へ勧める5泊6日程度の長期滞在型ルート

- ①羽黒山伏が伝える「精進料理の世界」と「生まれかわりの旅」
- ②城下町の風土と食と農の原風景を体感する旅

●5年後の将来像

- ①食文化体験プログラムが多く生まれ、市民が食文化を学び継承し、外国人

や地域の子供に伝えていきます。

- ②市民が大地の学芸員となって活躍し、海外から多くの人々が訪れ、農林水産業、食産業、観光業等の振興が図られます。

■当面の取り組み…国際「食のカンファレンス」in鶴岡「～世界と食文化でつながろう～世界からみた鶴岡」

12月9日(金)・10日(土)

場 公益大大学院等

内 ▶9日午後5時…①在来作物、発酵など世界が注目する鶴岡食文化(アンドレア・ピエローニ教授<イタリア食科学大学>) ②フードデザインの視点で考える新たな食のイノベーション(ペドロ・ライシグ教授<ミラノ工科大学>) ③大黒様のお歳夜を考える

▶10日午後3時30分…①鶴岡の食文化と世界のワイルドガストロノミー ②鶴岡のハムとイタリアパルマハム ③イタリアの学校給食を食べて学ぶ等

申 本所食文化推進室 ☎内線527

他 定員等の詳細は市HPをご確認ください

- ▼12月 国際カンファレンス・スタディアターを開催
- ▼11月 国の「食と農の景勝地」に認定
- ▼10月 フランスのメディア関係者を本市へ招く。鶴岡食文化をPR:写真⑤
- ▼9月 ユネスコ創造都市総会へ参加。食文化創造都市・エステルスンド(スウェーデン)と交流。エステルスンドで鶴岡食文化をPR:写真④
- ▼7月 フランスの自治体幹部職員が鶴岡市を訪問。文化・観光資源を生かしたインバウンド観光について意見交換:写真③
- ▼5月 食文化創造都市・パルマ(イタリア)と交流。パルマで食品加工業を学ぶ:写真②
- ▼4月 出羽三山が日本遺産に認定
- ▼ 鶴岡市国際観光推進行動計画を策定

